



HU D&I ACTIVITIES

広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 活動報告

VOL.3
OCT, 2024

【セミナー】インクルーシブ教育とテクノロジー：インドネシアの視点と実践

◆日時

2024年10月30日(水)

10:00~12:00

◆場所

ミライクリエ1F 多目的ホール
(広島大学 東広島キャンパス)

◆参加者

40名

◆主催

ウェルビーイング推進室

◆実施目的と概要

AIとテクノロジーを活用して障害のある人々への教育の提供・保障を強化することに焦点を当て、インクルーシブ教育における革新的なアプローチと進歩に関する洞察を深める。

主 催
広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構
ウェルビーイング推進室・特別支援教育実践センター

インクルーシブ教育とテクノロジー： インドネシアからの視点と実践

AIやテクノロジーを活用し、障害者教育を向上させる方法について革新的なアプローチや進展を議論するセミナーです。是非ご参加ください。

DR. AHSAN R. JUNAIDI
国立マラン大学 准教授
高等教育における障害者のための教育サービスを
拡大する多目的なスマートアシストプロトタイプ

DR. EDIYANTO
国立マラン大学 助教
3x3システムを用いた物理概念における
文脈的転移を促進する多目的学習

DR. LUKMAN HAKIM
ユダルタ大学 教授
機械学習アプローチを用いた手話から音声
へのAIベースのプロトタイプ

TATA GADING
国立マラン大学 大学先生
高等教育におけるインクルーシブ教育への
社会工学的アプローチのイノベーション
の発展に関する文脈的転移

SRI SAKTIANI
サクティ・アルマハティ・イブ小学校 校長
インクルーシブ環境における教育サービスの
プロトタイプ：幼児教育と視覚イスタム系小学校
SAKTI Permatasari (SU)

10月30日(水)
10:00~12:00
広島大学 東広島キャンパス
ミライクリエ 1F 多目的ホール

申込フォームはこちら
<https://shorturl.at/rkfs0>

参加費無料
セミナーは全て英語で実施されます

問い合わせ先:
Nurul Hidayati Rifah 特任准教授
nurul@hiroshima-u.ac.jp

◆レポート

本セミナーには、インドネシアから来日した5名が登壇した。マラン州立大学のアフサン・ロマドロン・ジュナイディ氏は、インクルーシブなサービスの提供を目的に、学生の目の状態をあらかじめ登録してある画像と照らして分析し、障害がある学生を識する、Efficient Net CNNという手法のAIを搭載した試験的な技術を紹介した。続いて、エディヤント氏は、物理学の自主学習をサポートするために、複雑な科学記号を触覚で解釈するための特殊な3x3点字システムについて、ユダルタ大学のルクマン・ハキム氏が、ランダムフォレストというアルゴリズムを使用しインドネシア手話(BISINDO)を90%以上の精度で音声翻訳することで聴覚障害者のコミュニケーションを向上させるAIモデルについて発表した。また、タタ・ガディン氏は、インクルーシブ高等教育の促進におけるヒュータゴジー（学習者が自立して学ぶ「自己調整型学習」）とサイバゴジー（テクノロジーを活用した学び）について説明し、これらの枠組みでの研究が限られていることを指摘しました。スリ・サクティアニ氏は、インドネシアの初等教育におけるインクルーシブ・アプローチを共有し、イスラムの価値観と統合された個別計画と社会情動的スキルについて述べた。その後、広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構の川合紀宗教授を交えた質疑応答が行われ、熱心な意見交換がなされた。最後に川合教授の閉会の辞でセミナーは終了した。

